

[編集後記]

松田紀之

「前号を読んで」に広報戦略室長の蓮見さん（当人の流儀にならって、“さん”付け）に寄稿して頂きました。学内外で大車輪の活動をされて多忙を極めておられるからでしょう、問題点を見抜く眼力はさすがで、優しい筆遣いに鋭い指摘がいくつもこめられています。中でも、書類の山に埋もれがちになる“筑波フォーラム”の宿命は、編集に携わる者として、胸が痛みます。

文化財的価値は大事にしなければなりません、大学の方針として存続させる限り、もっと読んで貰える冊子に変身しなければならぬことは確かです。これが、本年度の編集委員長を引き受けた私の目標です。とはいえ、本号の編集については、昨年度に決められていますので、実質的には、次号が初の仕事になります。

今回は、ささやかな試みとして葉を付けてみました。対談の席に供される一服のお茶と同じように、気持ちを和ませる

のでは、と願っています。

独法化後、“独立”の意味がひしひしと身に沁みるようになりました。競争原理が猛威を振う中、教育や研究の質を維持するだけではなく、高めるのはかなりの工夫と努力が必要です。厳しい環境では、ついつい気持ちが荒びがちですから、このフォーラムが、文字通り交流の広場として活用されるよう目指します。

——次号の[編集予告]になりました——

（まつだ のりゆき）